



京都大学
 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

東京フォーラム2015「ワイルドライフサイエンス」

野生動物を知りたい、調べたい、守りたい！



世界各地では今、過去に類を見ない速度で野生動物の絶滅が進行しています。京都大学「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」では、絶滅の危機に瀕する野生動物を学問的に探求するとともに、彼らの保全活動に直結する人材の育成を目指しています。そのためには、野生動物だけでなく彼らを取り巻く環境など、さまざまな角度から野生動物のまるごと全体について知りたい！という知的好奇心を必要とします。

東京フォーラムでは、野生動物を知ることの面白さを皆様と共有したいと願っています。彼らの楽しさに魅了され、野外と動物園を舞台に活躍する3名の講師が多種多様な野生動物に関する研究・教育・実践の試みをお話します。

日時 平成27年10月3日(土) 13:30-16:30

場所 日本科学未来館 7F 未来館ホール

主催 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

共催 京都大学霊長類研究所 / 京都大学野生動物研究センター

公益財団法人日本モンキーセンター

プログラム

※事前登録不要：当日11:00より日本科学未来館7階で入場整理券を配布いたします
 ※参加費無料：本フォーラムのみの参加の場合は、日本科学未来館への入場料は不要です
 科学未来館の展示見学をご希望の場合は別途入場券をお買い求めください

■ 13:30-13:35 ごあいさつ(木下こづえ)

■ 13:35-14:25 「知りたい！」をみんなのものに～研究から始まる動物園の知のサイクル



赤見 理恵 (公益財団法人日本モンキーセンター・主任学芸員)

今から59年前の1956年10月17日、愛知県犬山市に日本モンキーセンターが創設されました。昨年から公益財団法人になりました。日本の多くの動物園が情操教育やレクリエーションを主目的に設立される中、日本モンキーセンターの設立当時から、その趣意の筆頭に挙げられたのは「霊長類に関する総合的な調査研究」でした。この講演では、他の動物園とはちょっと違う日本モンキーセンターの歴史と、野生動物を知ることのおもしろさを多くの人々と共有する最近の取り組みについて紹介します。

■ 14:25-15:15 テングザルの不思議:ボルネオのジャングルでフィールドワーク



松田 一希 (京都大学霊長類研究所・特定助教)

大きな鼻に太鼓腹。高い木から川に飛び込む姿はまさにテング！こんなに奇抜なサルですが、ボルネオのジャングルでどのように暮らしているのかはわからないことだらけ。そんなテングザルが知りたくて、テングザルの不思議を調べ続けて10年目。森の中で彼らを追いかけて、ようやくその生態が見えてきました。わかってきたテングザルの生態や暮らしぶりはやはり不思議で奇妙で面白いことだらけ！ボルネオ島のジャングルでの楽しくて冒険いっぱいテングザルの調査風景、そして長い鼻と大きなお腹の秘密を紹介します。

■ 15:15-15:35 休憩:講師と歓談してください

■ 15:35-16:25 動物たちの心をつかみたい:ホルモン測定から見える彼らの心



木下こづえ (京都大学霊長類研究所・助教)

野生動物の状態を知るには、行動観察などさまざまな方法があります。私は、目に見えない彼らの心を知りたくて、発情やストレスなど生理的な変化にかかわる「ホルモン」という物質を調べてきました。動物たちは、動物園や野生下、単独または群れの中など、個体によってさまざまな環境下で生活しています。それぞれの環境下で彼らのホルモン状態がどうなっているのか？オランウータンやユキヒョウなど、これまで取り組んできたさまざまな動物に関わる研究例をご紹介します。ホルモン測定を通して見えた彼らの「心」についてお話をさせていただきます。

■ 16:25-16:30 終了のことば(木下こづえ)